



1954年設立 文化と芸術の街・上野に根ざし、洋楽専攻・邦楽専攻をともに擁する国立大学附属唯一の音楽高等学校

音楽の早期専門教育

- 設立の理念を一貫する -

○藝高独自の取り組み

- ・積極的な教育成果公開の実施
定期演奏会（秋季）、公開実技試験（6月）
アカンサスコンサート（年4回）、演奏研修旅行（2年次秋季）
ピアノ初見アンサンブル演奏会（12月）、室内楽発表会（2月）
- ・音楽を通じた地域交流活動の実施
北区・輝く☆未来の星ジョイントコンサート（10月、オーケストラ・合唱）
北区・輝く☆未来の星アカンサスコンサート（年2回、室内楽）



東京藝術大学の教育資源を 活用した高度な授業連携

- 高大連携教育のパイオニア -

○音楽教育の面では…

- ・東京藝術大学教員による主専攻・副科専攻レッスン
- ・大学招聘教員による公開レッスン
- ・高大合同合奏授業（管打楽器専攻生、入試説明会にて成果公開）

○グローバル教育の面では…

- ・言語・音声トレーニングセンターと連携した会話中心の英語授業
- ・同センターと連携し、第2外国語の講座を開講予定
- ・大学の図書館や情報センター端末、ネットワーク環境の活用推進



○藝高独自の取り組み

- ・世界的に活躍する講師によるキャリア講演会の実施
- ・教養を広く身につけることを目指したカリキュラム構成
- ・国内海外での演奏研修旅行の実施（2年次秋季）
本年度は英国にて実施予定、次年度も英国での実施を計画中



国際的に活躍する人材の育成

- 平成28年度 SGH採択校として -

